Shobara Silver

庄原シルバー

会報
新春号
2026.1











- 主な内容 -

新年のあいさつ ····· 2,3
午年の抱負 ····· 4,5
活動報告 ····· 6
安全及び適正就業委員会だより ···· 7
事務局だより、編集後記 ···· 8

基本理念

【自主】：自分のものとして考える
【自立】：自分たちの力で育てる
【共働】：一緒になって働く
【共助】：お互いに助け合う



公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

庄原市シルバー人材センターは、
会員の皆さまと地域の人々とが共に支え合い、
地域社会の環境維持と発展に本年も貢献してまいります。



庄原市シルバー人材センター
理事長　片岡 邦彦

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。庄原市シルバー人材センターの事業は、会員の皆さまはもとより、地域の人々や企業・事業所そして国・庄原市のご支援とご協力のおかげをもちまして、順調に推進しておりますことに心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は理事長に就任して2年目の新年を迎えます。この間いろいろと勉強する機会をいただき、あらためて庄原市シルバー人材センターの役目や活動の重要性について認識を深めた次第です。

表題に挙げましたのは、全国シルバー人材センターが「自主・自立、共働・共助」の基本理念を掲げておりますなかで、高齢化が急速に進むこの庄原市においては、会員の皆さまが元気で就業されることで、ご自身の生活に少しでもゆとりを持つことが出来るとともに、社会環境の維持と地域経済の活性化に役立つことが、当シルバー人材センターの役目だと強く思う次第です。

ここで、庄原市シルバー人材センターの運営についてその概要をご紹介します。当センターは国と市から合わせて3,800万円の補助金をいただき、この公的資金で人件費を含めた事務所経費の3分の2を賄っておりますことから、細かいルールに基づく運営を行っています。そして、シルバー人材センターの本来の事業は、お客さまからの様々な仕事の依頼をとりまとめ、会員の皆さまに相応した仕事に従事してもらい、業務を完了することです。因みに、令和6年の実績は受託事業及び派遣事業の契約金などの収入合計が1億8,500万円あり、就労された会員の皆さまに1億6,400万円をお支払いしました。現在の会員登録者は、男性が270人、女性が112人の計382人で、平均年齢は75.3才です。仕事の内容は多種多様で、市道の草刈りや個人宅の草取り、剪定、家屋清掃、また市役所の宿日直や水道メーター検針、公共施設の管理・清掃や民間企業の業務補助など、それぞれの立場に見合った仕事を引き受けていただいています。そうした中で、目下の課題は会員が不足しているために、たくさんいただいている仕事の依頼に充分対応できていないことです。会員の皆さまは、知り合いの方など一人でも多くの方に会員となっていただけるよう、声掛けとお誘いをどうぞよろしくお願いします。

ところで、昨年は夏が大変な猛暑でした。その中で心配していました熱中症の発症は軽症の1件にとどまりました。また、これまで重大災害は発生しておりません。これもひとえに会員の皆さまの安全意識の向上と、作業リーダーの適切な采配のおかげであったと感謝しています。

末筆になりますが、会員の皆さまの今年一年のご多幸をお祈り申し上げます。そのためにも、どうぞ「ご健康に」、そして「ご安全に」毎日をお過ごしください。



庄原市長

八谷 恭介

新年あけましておめでとうございます。

庄原市シルバー人材センターの会員の皆様をはじめ、ご関係の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。平素から市政全般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

昨年、戦後80年という節目の年を迎えました。戦中・戦後の非常に厳しい時代を生き抜き、ふるさとの発展を願い地域を支え、我々後継者の育成にご尽力いただきました方々に対し、改めて報恩感謝の念を抱くとともに、世界平和への誓いを強くしたところでございます。

また、夏は災害級とも言える大変な猛暑日が続きました。そのような状況下、会員の皆様方がお互いに連携を密にし、熱中症対策など事故防止のために工夫をしながら、役割を果たしていただきました。そのご尽力に心より敬意を表します。

さて、本市の高齢化率は令和7（2025）年10月1日現在、44.9パーセントとなっており、今後も急速な高齢社会の進展が見込まれている中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、健康で積極的に社会参加することが重要となっております。

このような中、庄原市シルバー人材センターにおかれましては、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、高齢者への多様な就業機会の提供をはじめ、高齢者の社会参加の促進、生きがいづくりや地域社会の活性化に大きく寄与され、大変重要な役割を担っていただいております。本市といたしましても、高齢者が社会を支える一員として幅広く活躍していただける環境づくりに一層努め、多世代が支え合うまちづくりを推進してまいる所存ですので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、庄原市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



庄原市議会議長

桂藤 和夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会の活動に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年4月の市議会議員選挙で市民の皆様から負託を受けた、新人8名を含む19名で、第6期市議会がスタートしております。

市制施行20周年を迎えた本市は、人口減少と少子高齢化が急速に進展し、地域活力の維持が喫緊の課題となっております。

新体制となった本市議会といたしましても、この難局を乗り越え、明るい未来へとつなげるため、市民の声と真摯に向き合い、新しい感覚をもちながら、役割と責任を自覚する中で、議会活動に励んでまいります。

さて、庄原市シルバー人材センターにおかれましては、今日まで一貫して、高齢期を迎えた方々に生きがいと就業の機会を提供され、高齢者の豊富な知識と卓越した経験を活かした、地域づくりと地域活力の維持に大きくご貢献いただいております。

また、就業を通じて、高齢者の健康の維持・増進や社会参画の促進にも大きく寄与されており、高齢者が生き生きと暮らせる健康・福祉のまちづくりの一翼も担っていただいております。

本市は、高齢化率がまもなく45%に達する見込みです。全国平均より約30年早いペースで高齢化が進んでおりますが、高齢者がこうして活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現を目指すうえでも、貴センターの担われる役割はますます重要となってまいります。

今後とも、会員の輪を拡げていただき、誰もが心身ともに健康で安心して暮らせる庄原市となるよう、シルバー世代の皆様にも引き続き、元気で頑張っていただきたいと考えており、本市議会といたしましても、執行者と連携し、高齢者福祉の向上になお一層注力してまいる覚悟でございます。

結びに、庄原市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健康とこの一年が幸多き年となりますよう、心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2026 午年の抱負

①入会年月
②入会したきっかけ
③入会して良かったこと、楽しかったこと
④趣味
⑤午年の抱負



梅田　真知子（西城）



①平成23年2月
②元会員の人に誘われて西城病院の洗濯仕事に入りました。その時ちょうど勤めていた会社が倒産して家に居たので、元会員の人も同じ会社だったので自分の代わりにこの仕事をしてほしいとの事がきっかけで入会しました。
③確か私が入会した年、シルバーまつりの抽選会で大型テレビが当たった事がありました。それは良かった、素直に嬉しかったです。旅行にも二度、三度行かせてもらって楽しかった思い出もあります。
④編み物や本を読む事
⑤入会して14年になります。病院で6年、支所で8年経ちましたが大変な事もありました。これから先いつまで出来るかわかりませんが、どうにか頑張ってやっていこうと思います。一緒に仕事をしている人たちに恵まれて楽しくやっていますし、自分のペースでやっていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

松﨑　孝（西城）



①平成26年4月
②国鉄（現JR西日本）に昭和37年に就職し、三次機関区、広島機関区、広島運転所、岩国運転区で運転士として仕事をしていました。その後私が退職して西城に帰り岡田さんからシルバーの仕事をせんか?と声をかけてもらい入りました。
③家で何もしないで居るより作業をして体を動かした方が健康になるし皆さんと集まって色々と話をすることも楽しい。又バス旅行や新年会で皆さんと飲み食いするのも楽しい。
④私は広島に居るとき、油絵のクラブに入って描いていましたがアジア大会が始まる頃、陸上審判員の養成があったのでそれに希望して申し込んだら、絵のクラブはクビになり、陸上審判員を広島陸協に登録し審判をしていましたが、体力の限界で現在はやめています。絵は趣味として時々描いています。
⑤競走馬や馬車馬のようにもう元気でないと思いますが、やれと言われれば草刈でも草集めでもやります。しいて今の体力では、グラウンドの草取、水夢の草取、墓地の草取など、今年の年男として頑張ってみます。

宗兼 角夫（総領）



①平成29年に会員にさせていただきました。
②それまでは、自宅の家庭菜園の作業で野菜や果樹を栽培しているのみで、近所の人との付き合いだけでした。62歳の時に、シルバー事務局の職員さんから誘われ、翌年から受託作業や地域活動を始めました。
③入会から10年を迎えて、これまで健康に過ごせたこと、そしてシルバー人材センターを通じて少しでも地域のお役に立つ機会をいただいていることに感謝とともに喜びを感じています。昨年は、猛暑で汗をたくさんかき大変でしたが特に、発注者さんから「ありがとうございます」「綺麗にしてくださった」「暑かったでがんしょう」などと気遣ってもらったことは、とても充実した心になるとともに大変うれしく思って、次の受託作業や活動への励みになりました。
④釣りが大好きです。主に、海はチヌ。川はワカサギ、ウナギ、すっぽんそれに鮎です。作業や仕事や妻の都合をつけて行きたいのですが、なかなか難しいですが頑張ります。
⑤気力・体力ともに若いころとは比べものになりませんが、「無理はできない。出来ることは丁寧に。でも、毎日を楽しむ。」を目標に、出来ることをコツコツ続けて行きます。会員の皆さんとの何気ないやりとりや小さな達成感を大切にしながら、笑顔で一年を過ごせたら幸いです。本年もよろしくお願いします。



栗栖　幸子（高野）

①平成25年6月
②父親の介護をしていましたが、Tさんより給食配達をしないかと声をかけてもらい時間的に余裕のある状態でしたので、やってみる事にしました。
③皆さんの親切があって、また、御縁を頂いた事で、沢山の方々と話ができたり、仕事がある事で、身体も仕事モードにスイッチが入り、元気がもらえています。
④読書、パズル
⑤健康に気をつけて、ぼつぼつ頑張る事!!



松永　郁江（口和）

①平成16年5月
②主人がやりたかった焼肉屋を病気がわかり平成15年12月末をもって閉めました。治療を頑張りましたが平成16年12月3日に亡くなり淋しく悲しんでばかりではいけないと社協さんよりお話をいただき引き受けました。
③家にいると生活のリズムがなく、不規則になり、お話をいただきすぐに返事をしました。普段の生活リズムが出来、今日まで元気におられる事に感謝しています。
④庭や畑いじり、花づくり、編み物、15年以上続いています。グラウンドゴルフ等楽しく出来る運動。
⑤皆様の協力のもと元気に仕事が出来ること幸せに思っています。体に気をつけ今年も頑張りたいと思います。編み物を続け、友人を大事にし生きて行こうと思います。よろしくお願いいいたします。



入江　美枝（庄原）

①平成16年2月
②入会されていた友達から退職したらシルバーへ入会しんさいねと声をかけてもらい入会。
③人の出会いの暖かさ、職員さんの思いやり。
④歌を聴くこと、花を色々（鉢植が多い）、年だから無理かなと思いながらも花のない人生はさみしい。
⑤遥かな夢を描くこと、切なる希望を抱くこと、良き友は自分の中で生きている。



岩本　光雄（東城）

①令和2年8月
②センターの職員から誘われたため
③特にありません
④読書（好きな作家は藤沢周平）パチンコ
⑤とにかく1日1日健康で過ごすこと



八野　孝文（庄原）

①令和3年12月
②広島で48年勤めた自動車会社を67才をもって4年前に退職し、我武者羅に働いてきた分、退職後はゆとりのある生活をしたい願望もあり実家をリノベーションして妻と共にUターンしてきました。さて庄原での生活が始まったのですが、畑もあり家庭菜園をしながら半年間過ごしている内、まだ身体も元気だし何か地元で役に立つ仕事は無いだろうかと職を探していた中、自らシルバーセンターへお伺いしたのがきっかけで今に至っております。
③入会してすぐに市役所の宿日直業務を紹介していただきました。メンバーさんは皆先輩方で頑張っておられます。またお話をして下さる折、歳はとっても仕事が目標にある内は元気でありたいという気持ちが自分にも備わってきています。また、自ら実家の庭木の剪定を好んでしていた経験もあり、3年前から剪定の仕事もしております。大ベテランの先輩の指導を受けながら作業をしております。作業完了後にお客様からビフォーアフターの仕上がりを見て頂き「スッキリしてきれいになった」とお言葉を頂くとこちらが心地よくなり作業のやりがいを感じております。
④35年続けているゴルフがスポーツとしてのもっぱらの趣味です。80歳まで目標を持ってやり遂げようと思っております。それと五畝の畑で家庭菜園をやっており採れたての野菜を食すると美味しいし、人に差し上げる事で喜んで頂けるのでつい沢山の野菜づくりに精を出しております。最近では駆け出しですがその時の風情を俳句にするようにしております。
⑤若き頃の仕事に邁進していた時代は干支の意識はあまり無かったと思います。還暦を迎えた頃から不思議と一年一年歳を取る毎に身体の衰えを感じる様になりました。例えれば若き頃は競走馬の「サラブレッド」と言えるでしょう。この歳になっては農耕馬のごとく「ばんば馬」歳を老いても一歩一歩地を進むように12年後の午年まで健やかに生きていきたいと思っております。

活動報告

各地域ごとにボランティア活動を実施し、地域イベントにも参加し、シルバー活動のＰＲを行いました。
また、刈払機取扱安全衛生講習会も開催しました。

地域イベント



▶ふれあい東城まつり



▶比和やまびこ祭

刈払機取扱安全衛生講習会





10月2日・3日の2日間の日程で、刈払機の安全な取扱いについて学びました

ボランティア活動





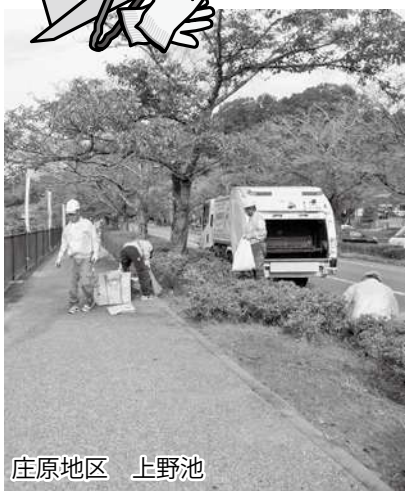
口和地区　総合運動公園



比和地区　グリーンポート吾妻路



高野地区　福祉センター



庄原地区　上野池



西城地区　夢公園



総領地区　ユーシャイン



東城地区　庄原市東城支所

安全及び適正就業委員会

事故発生状況

令和７年４月１日から令和７年12月31日までの事故発生件数は８件です。通院などで治療を受けた傷害事故６件、物損事故２件でした。

前年同期比は８件の減少という結果でした。事故内容は下表のとおりです。

	事故分類	件数	前年件数	前年比	事　故　概　要	原因・対策
傷害事故	ハチ刺され	3	7	-4	・全て草刈作業中 ・事前に発見することができなかった。 ・救急搬送：３件中１件（入院１日） ・残り２件についてはいずれも通院１日	・早めに気づく仕組みづくり ・作業時の服装対策 ・ポイズンリムーバー等の携行
	熱 中 症	1	2	-1	・8:00作業開始、8:30頃気分が悪くなり病院を受診。	・適切な対応
	切傷、挫傷	1	2	-1	・派遣労働による清掃作業中、左下腿前面（すね）をドアにぶつけ、打撲し、受診した。	・不安全な行動 ・作業方法の欠陥
	墜落、転落	1	0	1	・空家の裏山傾斜面を草刈作業中、足を滑らせ滑落し、腰椎圧迫骨折と診断された。（通院８日）	・前日から当日にかけて雨天での作業中 ・安全意識の向上
	転　　倒	0	2	-2	○事故発生なし	・冬季も引き続き注意を
合　　計		6	13	-7		
物損事故	草刈作業	2	2	0	・市道草刈作業中に配水管の一部をチップソーにより誤って破損させた。	・現地確認等で、配水管がある箇所がわかっている場合は、事前にテープ等により、しるしをつけておく
					・市道の草刈・撤去作業中、チップソーによる飛び石により、センター所有のパッカー車の助手席側窓ガラスを破損させた。	・作業前ミーティングの確実な履行 ・適正な作業間隔の確保 ・飛散防止対策
	車両運転	0	1	-1	○事故発生なし	・引き続き注意を
合　　計		2	3	-1		

○猛暑が長期間にわたったにもかかわらず、会員各位の安全意識の向上と安全対策により熱中症の事故発生件数は１件にとどまった。
○ナイロンコードによる草刈作業を禁止して以降、物損事故が大幅に減少した。
○雨上がりや斜面での作業については十分注意が必要。急斜面など危険と判断した場合は受注しない。
○昨年度は冬季に地面凍結による転倒事故が複数件発生しており、今後の冬場における注意が特に必要。

今年度、各地区において安全パトロールを実施しました。どの地区も概ね安全基準を満たした作業をされており、普段見る機会の少ない他地区の作業方法やお話を伺い、改善点や課題等、さらなる安全意識の向上や事故撲滅への意識が高まりました。今後も不定期で随時パトロールを実施予定です。

作業中にもかかわらずご協力くださった会員の皆様に、改めてお礼を申し上げます。今後とも引き続きご安全に作業をお願いいたします。

比和地区　草刈作業



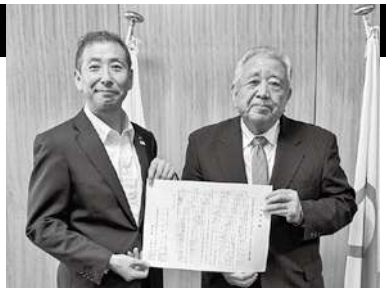


西城地区　草刈作業

支援要望活動を行いました

令和7年10月9日に庄原市長・庄原市議会議長に対して「庄原市補助金の継続的交付」、「センターに対する継続的な事業発注」などについて支援要望活動を行いました。

庄原市長と庄原市議会議長に支援要望書を手渡す片岡理事長▶



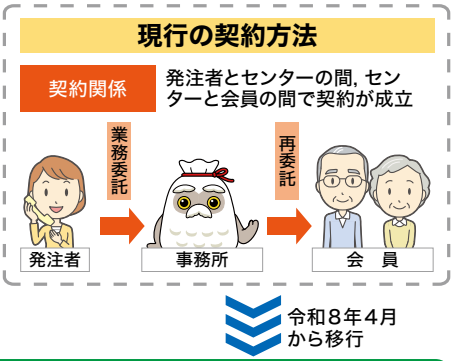


令和８年４月から新たな契約方法（包括契約）へ移行します

会員の皆様がフリーランス法のもとで安心・安全にお仕事ができるよう、厚生労働省から、シルバー人材センターの契約方法の見直しについて方針が示されたことから、当センターでは令和８年４月から新たな契約方法へ移行することになりました。新たな契約方法は発注者・センター・会員の三者間による包括契約です。

新たな契約方法では、センターは「仕事と会員のマッチング」と「会員と発注者の間の総合調整」を行います。(契約の流れは下図を参照)

①発注者とセンターとの間で利用契約を締結した時点で会員の就業条件が決定。
②マッチングした会員に対し、就業条件を記載した「会員業務仕様書」を提示（口頭含む）します。
③会員が業務仕様書の内容に同意。
④会員と発注者の間で契約が成立したことになります。



ポイント

形式的には契約関係が変わりますが、実務的には現行と変わりません。

◎会員のみなさまには引き続き安心してお仕事をしていただけます。
◎発注者のみなさまにも、これまでと変わらない流れでセンターをご利用いただけます。
（※一部、課税関係で影響のでる発注者さまがあります。）

会員専用サイト「Smile to Smile」
－就業・配分金・お知らせがすぐに確認できます－

「Smile to Smile」は会員専用のサイトで、センターからの連絡を手軽に確認することができます。

◆お仕事の内容や報酬（会員業務仕様書等）について確認できます。お仕事の進捗状況の報告や現場写真の送信も簡単にできます。
◆配分金明細書が毎月スマホで確認できます。過去の明細も残るのでとても便利です。
（※将来的には配分金明細書の郵送を廃止する予定です。）
◆センターからのさまざまなお知らせもタイムリーに受け取れます。

「Smile to Smile」の利用開始には、センターが発行したログインIDとパスワードが記載された通知書が必要です。通知書が見当たらない方、登録方法がわからない方は、事務局までお問い合わせください。

令和7年度地区懇談会のお知らせ

下記の日程で地区懇談会を開催します。会員のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

地　区	日　時	場　所
比和地区	2月17日(火) 10:00から	比和ふれあいセンター
高野地区	2月17日(火) 13:30から	高野保健福祉センター
西城地区	2月18日(水) 10:00から	しあわせ館
東城地区	2月18日(水) 13:30から	東城自治振興センター
庄原・口和・総領地区	2月19日(木) 10:00から	シルバー人材センター本所2階

編集後記

本当に秋が来るのだろうかと思い続けた暑い日々が過ぎ、稲刈りが終わったとたんきっぱりと冬が来ました。暑い日々でしたが、熱中症による事故が一件で、しかも軽度で済んだようです。これは会員の皆様の日頃の健康管理の賜であろうと思います。支えられる高齢者から支える高齢者、支え合う高齢者となることが大切です。今年度は会員相互の交流のためグラウンドゴルフを計画しており、皆さんとお会いするのを楽しみにしています。

新任役員のご紹介

第35回定時総会にて新役員に選任いただきました。
今後ともよろしくお願いいたします。

理事　佐古　辰巳（東城）
理事　藤野　明美（比和）
理事　松永　智子（高齢者福祉課）
監事　小池　毅司（庄原）

■編集・発行　公益社団法人 庄原市シルバー人材センター　広島県庄原市三日市町20-13　■新春号　2026.1
TEL（0824）72-1135　E-mail:sjc@syobara.jp　https://webc.sjc.ne.jp/syobara/
■取 扱 い　庄原市 生活福祉部 高齢者福祉課　TEL(0824)73-1143　FAX(0824)75-0245　E-mail:kourei-koureisya@city.shobara.lg.jp